

ハイブリッド給電方式 UPS

SANUPS E11B

給電品質と省エネルギーを両立した
グローバルタイプのUPS

ラインアップ

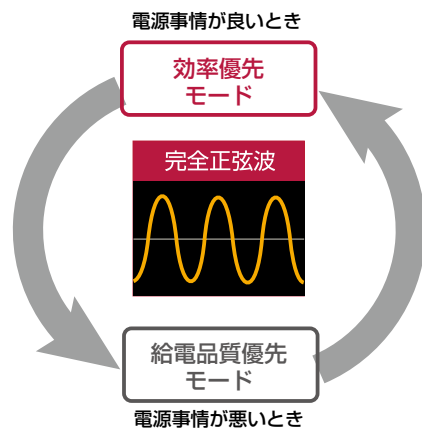
[相数・線数] 入出力電圧	出力容量		バッテリーバックアップ時間*
	(kVA)	(kW)	
[単相2線] 100Vモデル 100, 110, 115, 120V	1	0.8	3分 (5分)
[単相2線] 200Vモデル 200, 208, 220, 230, 240V	1	0.8	3分 (5分)

※周囲温度25°C, 初期値。負荷力率0.8の場合。()は負荷力率0.7の場合。



高品質・省エネルギー

- 給電方式はハイブリッド方式*1を採用。最適な給電モードをUPSが自動的に選択し、省エネルギーを実現しながら、高品質な電力を安定的に供給します。



*1 入力電源の状況を判定しながら、常時インバータ給電方式と常時商用給電方式を切り替える方式。

幅広い入力電源範囲

- 入力電圧範囲は100V系タイプが55 ~ 150 V**2, 200V系タイプは110 ~ 300 V**2, 入力周波数範囲は40 ~ 120 Hzです。
- 入力電源の状況が不安定な場合でも、バッテリー運転への切り換えが抑制されるため、バッテリーの劣化を防ぎます。

※2 負荷率40%未満の場合。

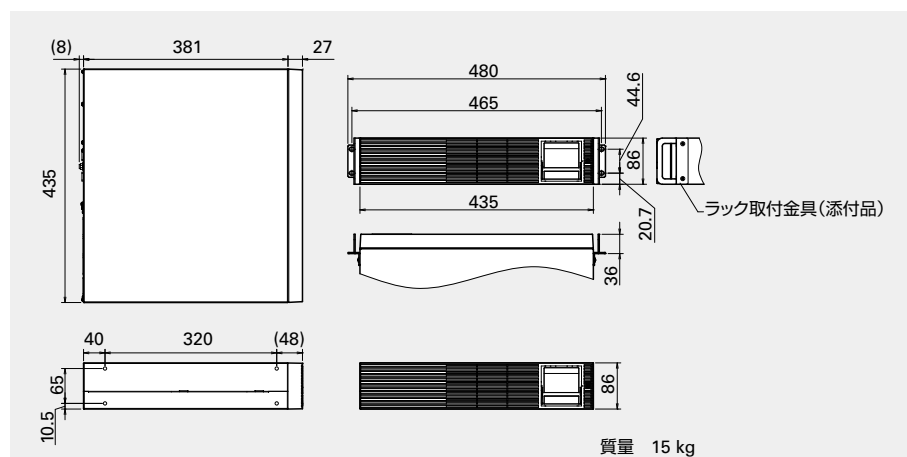
幅広い使用温度範囲

- 使用温度範囲は-10 ~ +55°Cです。

豊富な入出力形状

- 入力プラグと出力コンセントの形状を選択でき、グローバルに使用できます。

外形寸法



標準仕様

型番	E11B102A001AM		E11B102A002AM	備考	
定格出力容量 (皮相電力/有効電力)	1.0 kVA / 0.8 kW				
方式	給電方式	ハイブリッド給電 ^{※1}			
	冷却方式	強制空冷			
交流入力	相数・線数	単相2線 ^{※2}			
	定格電圧	100 V / 110 V / 115 V / 120 V	200 V / 208 V / 220 V / 230 V / 240 V	交流出力と同じ	
	電圧変動範囲	給電品質優先モード時	55 ~ 150 V (負荷率40%未満) 68 ~ 144 V (負荷率70%未満) 80 ~ 144 V (負荷率70%以上)	110 ~ 300 V (負荷率40%未満) 136 ~ 288 V (負荷率70%未満) 160 ~ 288 V (負荷率70%以上)	
		効率優先モード時	定格電圧±8%以内		
	周波数	50 / 60Hz (自動判別 ^{※3})			
	周波数変動範囲	給電品質優先モード固定設定時	定格周波数±1% (同期運転範囲) 40 ~ 120Hz (非同期運転範囲)		
		自動切換え設定時	定格周波数±1% / 3% / 5%以内 (出荷時: ±3%) (同期運転範囲) 40 ~ 120Hz (非同期運転範囲)		
	所要容量 ^{※4}	1.1 kVA			
	入力力率	0.95以上			
	交流出力	相数・線数	単相2線		
定格電圧		100 V / 110 V / 115 V / 120 V (出荷時: 100 V)	200 V / 208 V / 220 V / 230 V / 240 V (出荷時: 200 V)	設定で変更可能	
電圧精度		給電品質優先モード時	定格電圧±2%以内		
		効率優先モード時	定格電圧-10%、+8%以内		
定格周波数		50Hz / 60Hz		入力周波数と同じ	
周波数精度		商用運転時	給電品質優先モード固定設定時 定格周波数±1%		
		自動切換え設定時	定格周波数±1% / 3% / 5%以内 (出荷時: ±3%)		
電圧ひずみ率		バッテリー運転時	定格周波数±0.5%以内 (非同期運転時含む)		
		線形負荷時 整流器負荷時	3%以下 8%以下		
負荷力率		定格	0.8 (遅れ) (変動範囲 0.7 (遅れ) ~ 1.0)		
過渡電圧変動	負荷急変時	定格電圧±5%以内 (0⇔100%変化, 定格入力時)			
	停電復電時	定格電圧±5%以内 (定格運転時)			
過電流保護動作	入力電圧急変時	定格電圧±5%以内 (±10%変化)			
	バイパス	バイパス回路へ自動切換え (オートリターン機能付)			
過負荷耐量	インバータ	105% (200 msec)			
	バイパス	200% (30 sec), 800% (2サイクル)			
バッテリー	種類	小形制御弁式鉛蓄電池			
	バックアップ時間 ^{※5}	3分 (5分)			
	期待寿命	約5年			
	バッテリー容量 (W)	34			
インタフェース	バッテリー動作テスト	自動			
	PCインタフェース	RS-232C, USB Type-B ^{※6} (同時に使用することはできません)			
	リモートコネクタ	リモート ON / OFF			
	接続出力	オプションの接続インタフェースカードが必要です			
ネットワーク対応	オプションのLANインタフェースカードが必要です				
騒音 (効率優先モード時)	40 dB				
発生熱量 (給電品質優先モード時)	130 W (バッテリー充電完了後定格運転時)				
入力漏えい電流	3 mA以下				
使用環境	周囲温度: -10 ~ +55°C ^{※7} , 相対湿度: 20 ~ 90% (結露なきこと)				
保管環境 ^{※8}	周囲温度: -15 ~ +60°C, 相対湿度: 20 ~ 90% (結露なきこと)				
ノイズ規制	VCCI ClassA				
別売オプション					
たて置き用スタンド	STAND2UA00				
電源ユニットラックサポートレール ^{※9}	RM030 (2U)				

※1 効率優先モードからバッテリー給電に切り替わる時8 ms以下の瞬断が起こります。無瞬断でご利用の場合は、給電品質優先モードに固定してください。

※2 交流入力および交流出力を一線接地する場合、入・出力の接地相をUPSの指定に合わせてください。交流入力のW (N) 端子 (S相), 交流出力のW (N) 端子 (V相) を接地相とします。

※3 交流入力周波数が、定格周波数の±3% (1, 3, 5%変更可) の範囲にあるときインバータは交流入力と同期運転し、バイパス回路への無瞬断切換えが可能となります。

※4 バッテリー回復充電時の最大容量

※5 周囲温度25°C, 初期値, 負荷力率0.8の場合。() は負荷力率0.7の場合。

※6 USBの使用にはドライバのインストールが必要です。

※7 バッテリー温度が40°Cを超えたときには、バッテリーの充電を停止します。

※8 バッテリーの寿命短縮を考慮して、+30°Cを超える長期間の使用、保管は避けてください。長期間保管する場合は、半年に1回、バッテリーの補充電が必要です。

※9 電源ユニットやバッテリーユニットをEIA規格19インチラックに搭載するときに使用します。

山洋電気株式会社

本社 〒170-8451 東京都豊島区南大塚3-33-1 電話(03) 5927 1020(大代表)

<http://www.sanyodenki.co.jp>

製品に関するお問い合わせ e-mail: cs@sanyodenki.com 受付時間 9:00~17:00(土,日,祝祭日,当社休日を除く)

記載された会社名と商品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

記載の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

CATALOG No. P1041A004 '19.3